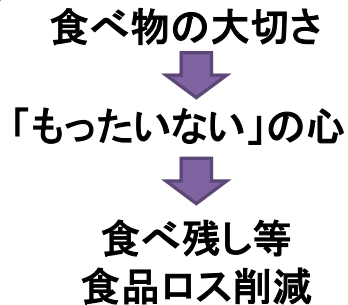


◇食品ロス削減啓発用紙芝居作成プロジェクト

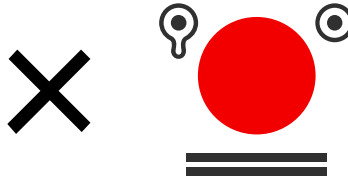
家庭での食べ残しを減らす取組み

紙芝居のコンセプト

「もったいない」の心

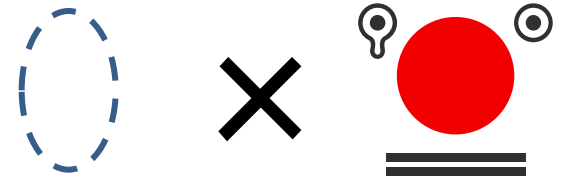


「アルプちゃん」と「ろすのん」のコラボ



「アルプちゃん」と「ろすのん」の両方が登場する内容で作成

消費者庁等を通じて全国発信



「アルプちゃん」をご当地キャラに変えることで全国で活用

<プロジェクトメンバー>

降旗まどか (里山辺保育園)
市川美里 (波田ひがし保育園)
小林あゆみ (環境政策課)
菅原千史 (さくら保育園)
野村佳菜 (白板保育園)

<アドバイス>

竹迫祐子(安曇野ちひろ美術館副館長)



H26.7～H27.1の間に
計11回実施



市内全保育園・幼稚園、図書館、こどもプラザ等に配布
データは、松本市及び消費者庁のホームページに掲載、自由にダウンロード可能
<http://www.city.matsumoto.nagano.jp/shisei/kankyojoho/osirase/foodloss-kamishibai.html>

◇ 松本大学との連携

家庭での食べ残しを減らす取組み

家庭からの食品ロス

過剰除去

食べ残し

もったいないクッキングレシピの開発

◎丸ごと料理

食材を無駄なくまるごと使ったレシピ

◎リメイク料理

余った料理を作り変えるレシピ



松本大学

学生の柔軟な発想

×

松本市

食品ロスに関する情報提供
レシピの製本



松本大学地域づくり考房「ゆめ」
チーム「◎いただきます!!」



ブロッコリーをまるごと使った
ドーナツ

◇ 環境教育の実施に伴う効果測定事業（環境省モデル事業）

小学生に対する環境教育の効果を評価・検証

小学校 環境教育



- ◎ 食品ロス・3R等のテーマ
- ◎ 学年毎に双方向で楽しく実施

食べ残し量 調査



- ◎ モデル校3校で食べ残し量調査
- ◎ 環境教育実施前後（それぞれ1カ月程度）に測定

保護者に対する 意識等変化調査

環境教育に関するアンケート

学年: 小学校 3年生

学校名: 〇〇小学校

学年: 3年生

性別: 男 女

名前: 〇〇 〇〇

質問: 1. 食品ロス・3Rについて、学校の授業で学びましたか? 2. 食品ロス・3Rについて、家庭でも学びましたか? 3. 食品ロス・3Rについて、意識が変化しましたか? 4. 食品ロス・3Rについて、行動が変化したか? 5. 食品ロス・3Rについて、友達や家族に話しましたか? 6. 食品ロス・3Rについて、他のことを学びましたか? 7. 食品ロス・3Rについて、他のことを学びましたか? 8. 食品ロス・3Rについて、他のことを学びましたか?

- ◎ 意識等変化に関するアンケート
- ◎ 子と保護者の意識等の変化等を聞き取り

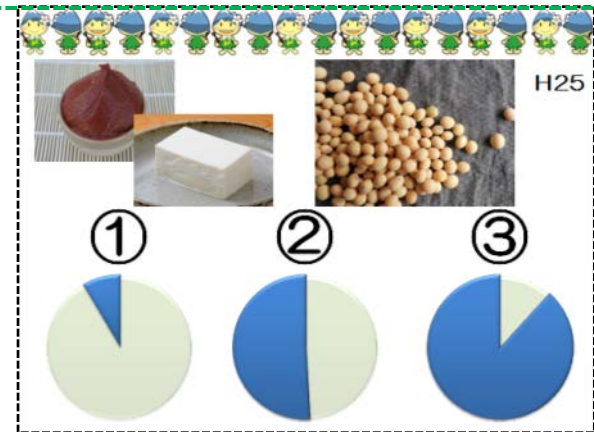
◇ 環境教育の実施に伴う効果測定事業（環境省モデル事業）



料理には、様々な材料が使われていること



たくさんの人や資源が関与していること



食料自給率など
(クイズで説明)



世界には、食料不足の子どもたちがいること



それでも食品ロスが出ていること



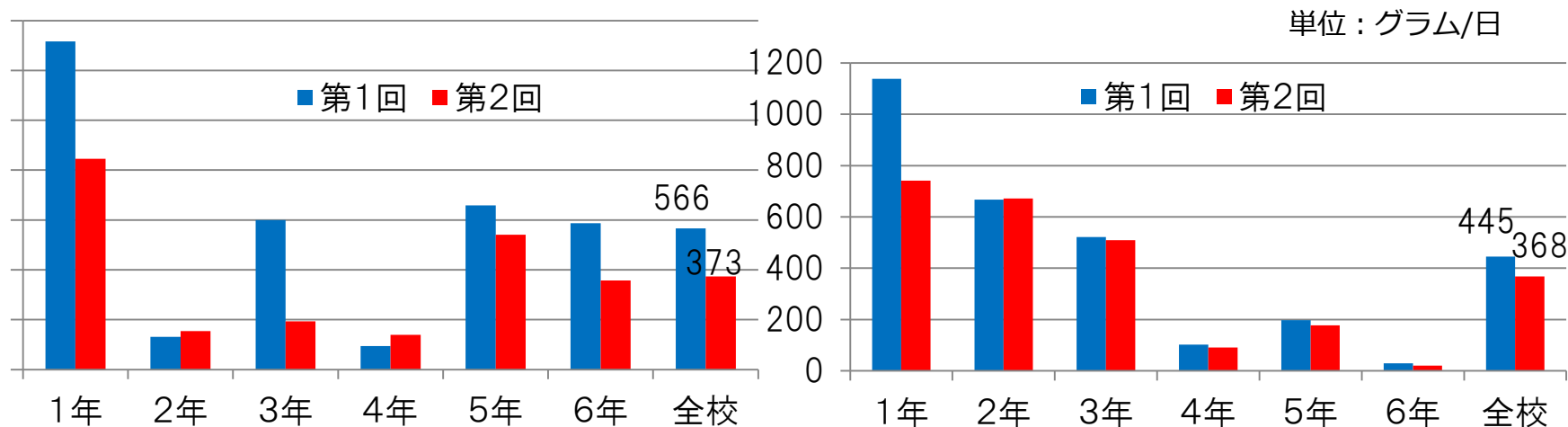
食品ロスの詳細について
(写真)

◇ 環境教育の実施に伴う効果測定事業（環境省モデル事業）

食べ残し調査結果

◆環境教育実施校

＜主食と副食の食べ残し量の1クラスあたりの学年平均＞



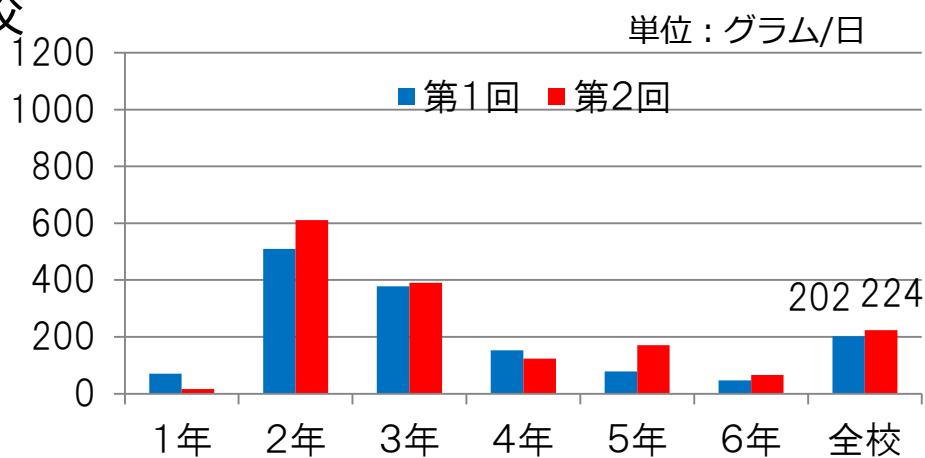
【A校】

約34%減

【B校】

約17%減

◆環境教育非実施校



【C校】

約11%増

◇ 環境教育の実施に伴う効果測定事業（環境省モデル事業）

保育園環境教育との比較

- ・ 保育園（幼稚園）児の方が、自宅で話をする割合が高い。
- ・ 意識変化についても保育園（幼稚園）の方が、子ども及び親の意識変化の割合が高い。

		小学校	保育園 (幼稚園)
話の有無		66.3%	79.8%
意識変化の 有無	子	48.9%	58.4%
	保護者	44.7%	62.1%

※保育園（幼稚園）の数値はH26に松本市で調査

→ 子ども（特に園児）を通じた家庭への影響は大きく
子どもへの環境教育の意義は大きい

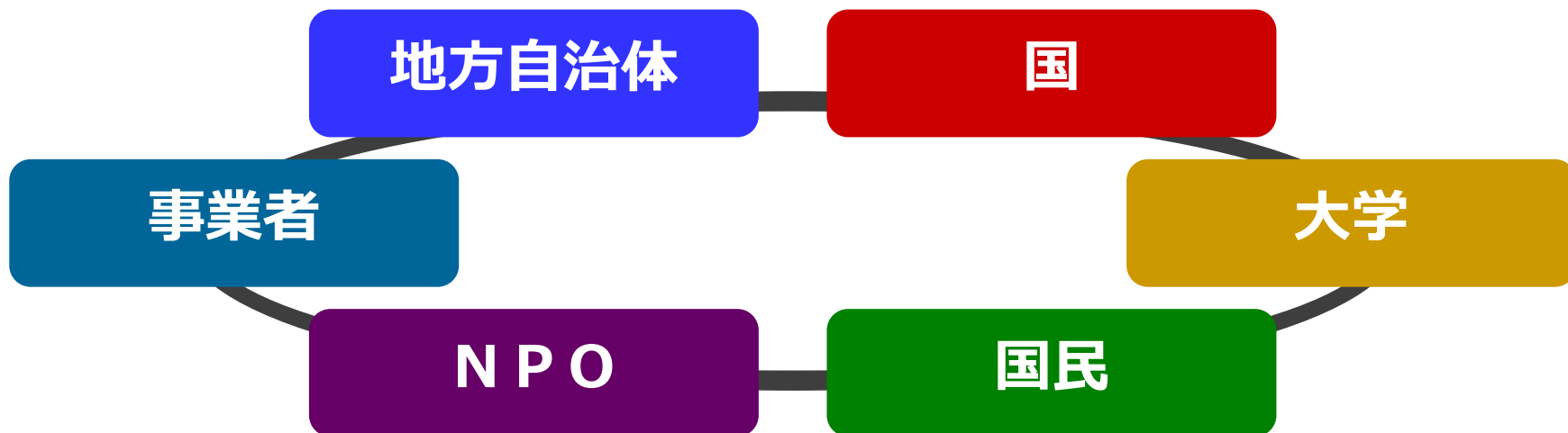
◇ ご案内

食品ロス削減全国大会を松本市で開催予定

期日：平成29年10月30日

「食品ロス削減のために、わたしたちにできることって何？」

食べものを捨ててしまうことの“もったいない”について、多様な主体が集まり、情報交換・情報共有をする場にしたいと考えてます。



◇ ご提案

食品ロス削減の全国的な気運を醸成するために

10月30日を「食品ロス削減の日」に！

— 背 景 —

G7環境大臣会合で議題になるなど世界的に関心が高まる
全国おいしい食べきり運動ネットワークが発足し自治体の連携が強化
2020年の東京オリパラでも「もったいない」がキーワードに（都知事談話より）

— 10月30日の理由 —

- ① 3R推進月間の月末に開催することによる相乗効果
- ② 多くの自治体で「10」と「30」をキーワードにした取組みを実施
- ③ 11月以降に多くなる忘・新年会等の宴会に向けた意識啓発

**多様な主体が一斉に行動を起こすことで
食品ロスのさらなる削減につなげたい**